

コード	20104
作成年度	23年度

基本事業評価表

基本事業名称	ごみ減量化とリサイクルの推進
--------	----------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり

課コード	113	関係課名
主管課名	環境課	

基本事業の目的

ごみ分別収集の徹底や生ごみ処理容器の設置助成など、ごみ減量化とリサイクルの推進に努める。

基本事業の成果

成果指標名称 1	リサイクル率	成果指標名称 2	*****
成果指標の積算根拠	リサイクル資源量÷ごみ総排出量	成果指標の積算根拠	*****
目標達成年度	平成27年度	目標達成年度	*****
目標達成数値	18%	目標達成数値	*****

年 度		H19	H20	H21	H22	H23	
成果指標 1	目標 A	t	9,591	9,449	9,326	9,399	9,082
	実績 B	t	752	465	899	729	
	達成率 B/A	%	7.8	4.9	9.6	7.8	
成果指標 2	目標 A						
	実績 B						
	達成率 B/A	%					

1次評価	現状	家庭からの一般ごみ排出量に関しては年々減少傾向にあり、啓発活動を通して買い物時のマイバッグの持参、中身の詰め替え可能な容器の購入等、ごみ排出抑制の意識が浸透してきている。ただし、平成22年度においては、家屋解体の増加及び海岸漂着物の回収等でごみ排出量はそれほど減少していない。
	課題	焼却処分されるごみの割合が高いためにリサイクル率の向上にはいたっていない。
	改善	ごみ分別の説明会・ごみ処理施設の見学や広報誌等による啓発活動を継続して行っていく必要がある。

2次評価	ごみの搬出量については経年的に抑制されてきており、人口減少によるところもあるが啓発等の一定の効果が見られる。今後は、意識の変化とともにごみの再資源化に対し、分別の多様化などリサイクル率の向上に向けての方策を検討する必要がある。また、リサイクル率のアップにより資源ごみ売却収入が増加すれば、ごみ袋代の値上げが抑制できるなど、町全体の環境問題に対する取組の機運を盛り上げる対策が必要である。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。